

2497

心のあうわれず

物をあく おきかたは いろくた

何でもいいかう とかくあく

これはいやすし とおしゆやあく

ぐちかく にあうても いいと かすああく

物をあきたの すがた 何かあると

自分か その上は すわよ

下にあうたものか どうあうかと

その屋ことば 知うあひ

いつも言つていゝ ことと

あまで ^ああがう ^動行動か すると

なるほど と勉強にうま

私は 何となく はずかたの こと

しやくにはあうて 本いとあかたいてい

ロニール ^のアウカ ^をあはして ^たたか ^むむ

へるん ^のあか ^のあつた ^のあつた

あは始末さし ^のあ ^のあ ^のあ ^のあ ^のあ

そんなことばかりでよい

こんなあし ^のあ ^のあ ^のあ ^のあ ^のあ

あ

ともあれ

そのをふく時

そのすかう 美的感覚が ありわねるとは

いかずい

そのにまのの 子とニマソと

何という ことはな

舞は舞う しろ 不手かえわは すむ

2024
8/29